

開催概要

名称：Gartner IT Symposium/Xpo™ 2019
会期：2019年11月12日(火)・13日(水)・14日(木)
会場：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
主催：ガートナー ジャパン株式会社
後援：一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 (ITCA)
特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

参加対象者

- CIO、CEO、CFOをはじめ、企業のIT戦略や投資にかかわる経営者
- IT部門の責任者、IT投資・導入に関わるすべての意思決定者
- 経営企画／事業企画部門、マーケティング部門、研究・技術開発部門、情報システム部門ご担当者
- ITプロバイダーのマーケティング・戦略立案部門ご担当者
- テクノロジーに関心のある機関投資家、アナリスト、ビジネス・プロフェッショナル
- メディア

参加料金(一名様)

- 早期割引価格 2019年10月10日(木)まで……………185,000円(税別)
- 通常価格 2019年10月11日(金)以降……………210,000円(税別)

グループ登録割引

- **1 for every 4 paid registrations** …… 同時に5名様ご登録で、1名様分無料になります

お支払い方法について

申込み受領後10日以内に、事務局より請求書を送付いたします。請求書の記載に従い、請求書の発行日から30日以内、あるいはコンファレンス開催の10日前までに、参加料金のお振込みをお願いいたします。また、お振込みの際の手数料は、お客様負担となります。どうぞご了承ください。

参加セッションは事前登録制です



ガートナー ITシンポジウムのセッションは事前登録制です。セッション登録は、9月中旬に受付開始予定です。

ガートナー ITシンポジウムの参加登録がお済みのお客様へ

9月中旬に「セッション登録開始のお知らせ」メールをお送りする予定です。

参加料金に含まれるもの

- セッションおよびIT Xpoへの参加(3日間)
 - ガートナー one-on-oneミーティング
 - コンサルティング・クリニック
 - 昼食および軽食
 - プレゼンテーション・ダウンロード／音声配信サービス
- *一部講演者の都合によりデータのご提供ができない場合がございます。

協会ポイント・クレジット

Gartner IT Symposium/Xpo 2019は、様々な協会の教育ポイント・クレジットの対象になります。

ITコーディネータ

受講時間分のITコーディネータの実践力ポイント(時間計算、4時間=1ポイント換算)を取得することができます。会場にて受講証明申込書に記載・提出いただき、後日ガートナーから発行する受講時間証明書をもちてITコーディネータ協会に申請ください。

ISACA (情報システムコントロール協会) 受講証明

会場にて受講証明書申し込み記入・提出頂いた方には、後日ガートナーから受講時間を明記した受講証明書を送付致します。ISACAのCPEポリシーに基づき申請ください。

会場へのアクセス

グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
〒108-8612 東京都港区高輪3-13-1 TEL:03-3442-1111
URL: <https://www.princehotels.co.jp/newtakanawa/>

電車をご利用の場合

- 新幹線・JR線・京急線 …… 「品川駅(高輪口)」から徒歩約5分
- 都営地下鉄浅草線 …… 「高輪台駅」から徒歩約3分

お問い合わせ

ガートナー ジャパン株式会社

Gartner IT Symposium/Xpo 2019登録事務局

TEL: **03-6430-1810** Email: Japan.Conferences@gartner.com

受付時間 10:00-12:00、13:00-17:00 (土・日・祝祭日を除く)

参加登録受付中 gartner-em.jp/symposium

2019年11月12日(火)・13日(水)・14日(木)
グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
gartner-em.jp/symposium

Leading the Digital Society

The World's Most Important
Gathering of CIOs and
IT Executives™

海老名 剛

コンファレンス・チェア
パイプ プレジデント、アナリスト
リサーチ&アドバイザリ部門

デジタル社会をリードする

デジタルと現実の境界は、かつてなく曖昧になっています。いまやテクノロジーは、人々の生活や社会のあらゆる側面に浸透しています。ビジネス・リーダーは、「新たなテクノロジーがビジネスにどのような影響を与えるか」ではなく、「テクノロジーを使ってビジネスの在り方、ひいては社会をいかに変えられるか」を問う必要があります。

人工知能 (AI) やクラウド・コンピューティングの普及と、それに伴って高まるプライバシーやセキュリティの脅威に、CIOをはじめとするITリーダーは立ち向かわなければなりません。ブロックチェーン、モノのインターネット (IoT)、APIエコノミーといった、影響し合いながら発展するテクノロジーは、ビジネスの在り方を変えつつあります。成功に不可欠な要素としてテクノロジーを使いこなすには、これまでにない人材やスキルが必要です。

かつて、これほど多くの人々がデジタルでつながり合う時代はありませんでした。人間社会は、新たな高みに達したと言えます。絶え間なく広がる人と人のつながりはCIOの役割を変え、ビジネスそのものの可能性をも大きく広げています。一方で、この変化はデジタル化を進めようとする野心と現実との間に、これまでになかった緊張を生んでいます。新たなテクノロジーによって不可能が可能になるとしても、それを進めてよいとは限りません。私たちは時代のリーダーとして、自らのビジネスを益するためにではなく、社会全体を益するためにこそ、デジタルを使いこなす力を有しているのです。

ガートナーは、こうした大胆なビジョンをCIOに提示する場として、Gartner IT Symposium/Xpo™ 2019を開催します。ガートナーが近年提唱してきたコンセプトは、ここで、大きな進化を遂げます。「デジタル・ビジネス」から「バイモーダル・モデル」、さらに「アルゴリズム・ビジネス」へ。「デジタル・プラットフォーム」から「ContinuousNext」へ—そして今、「デジタル社会をリードする」ための新たな幕が上がります。

未来は、私たちの選択の積み重ねから生まれます。「何ができるか」ではなく、「なぜそうするのか」を問いましょ。テクノロジーには、より良い社会を生む希望があり、CIOこそがその希望を現実のものにすることができます。CIOは変革の立役者であり、好ましいデジタル社会の担い手なのです。

Gartner IT Symposium/Xpoの変遷



2015

デジタルへの挑戦:今こそ立ち上がれ
Rise to the Challenge

テクノロジーの変化という巨大な波を乗り切るために必要となるスピード、俊敏性、リーダーシップのスキルについて解説しました。



2016

Lead 360: デジタルをコアに据えよ
Lead 360: Drive Digital to the Core

あらゆるプロセス、製品、サービスのコア(中核)にデジタルを据え、イノベーションを起こす必要があると呼びかけました。



2017

イノベーションと破壊
Innovation and Disruption

デジタル・ビジネスは「過度な期待」のピーク期にあり、これからは「幻滅期」に突入するため、それをどう乗り越えるかが大きなカギになると話しました。



2018

デジタル・トランスフォーメーションからContinuousNextへ
From Digital Transformation to ContinuousNext

絶えず変化している世界で成功するために、新たに「ContinuousNext」のアプローチを取り入れることを提唱しました。



2019

デジタル社会をリードする
Leading the Digital Society



長嶋 裕里香

マネージング バイス プレジデント
リサーチ&アドバイザリ部門

Experience more: The power of Gartner live

ガートナーのパワーを体験する

CIOをはじめとするビジネスリーダー、ガートナーのエキスパート、各業界のリーダー、最先端のソリューション・プロバイダーが一堂に会するGartner IT Symposium/Xpo では、確信をもってビジネス上の判断を下し、さらなるリーダーシップを発揮するために必要な知見を手に入れることができます。



戦略的アドバイス

ガートナーのエキスパートが、ITとビジネスの未来を形作る市場トレンドと、注目すべきテクノロジーを明らかにします。



テクノロジー・ソリューション

革新的ソリューションが集結するIT Xpoで、貴社に最大の価値をもたらすソリューションを効率よく評価できます。



ソートリーダーシップ

最前線で活躍しているゲストや先見的なリーダーが、インスピレーションに満ちた見解や知見を提供します。



ピア・コミュニティ

多くのCIOおよびリーダーとの交流を通じて、共通の課題を共に考え、解決策を見出すことができます。



“カテゴリを越えた最新のテクノロジー動向を包括的に情報収集できる場は少なく、また、他企業の方々とのネットワーキングによる意見交換も有意義でした。”

“テクノロジー、サービスの方向性、取組み方の指針を示してくれるのは、自社での取組みを考えるうえで役立つ”

(2018年の参加者)

The CIO Experience

CIO Experienceは、CIOおよびITエグゼクティブ・リーダー限定のプログラムです。テクノロジーとビジネス戦略の最新トレンドや、リーダーシップに関する知見、そしてエグゼクティブ同士のコミュニティを提供します。

CIO Experienceメンバー特典

1. CIO Experienceメンバー限定セッションにご参加いただけます。

- ワークショップ
- CIO Experienceゲストスピーカー・セッション
- ボードルーム・セッション*

*ボードルーム・セッションは、ソリューション・プロバイダーのエグゼクティブによる少人数制のセッションです。

2. ガートナー one-on-oneミーティング優先予約

3. CIO Experienceメンバー専用の昼食会場をご利用いただけます。

CIO Experienceメンバー該当条件

以下の条件に該当するCIOもしくはCIOに相当するITエグゼクティブ・リーダー（企業組織の意思決定者）

- ・売上高250億円以上の企業もしくは社内カンパニーのCIO、またはCIOに相当するITエグゼクティブ・リーダー
- ・職員数1,000人以上もしくはIT予算250億円以上の公共部門のCIO、またはCIOに相当するITエグゼクティブ・リーダー
- ・売上高250億円以上のITベンダーまたはITコンサルティング会社の社内情報システム部門及び社内情報サービス部門のCIOまたはCIOに相当するITエグゼクティブ・リーダー

お申し込み方法

CIO Experienceへの参加希望を貴社担当営業へお申し付けください。

※参加基準を満たさない場合は、CIO Experienceメンバーとして登録されない場合がございます。予めご了承ください。

→ ワークショップ、CIO Experienceゲストスピーカー・セッション、ボードルーム・セッション情報はWebサイトまたは、セッションガイドをご覧ください。

“ガートナー one-on-oneミーティングを通じて疑問をぶつけることができた。また、ワークショップのセッションで複数のCIOと知り合うことができ、ミッションの1つを達成することができました。” (2018年の参加者)



Get inspired through our keynotes

ゲスト基調講演

11月12日(火)



株式会社三井住友フィナンシャルグループ
執行役専務 グループCDIO
谷崎 勝教 氏

進化し続けるSMBCグループのデジタルイノベーション戦略

デジタルテクノロジーの急激な進展とともに、デジタル戦略も日々刻々と進化と変化を続ける。一年前、いや半年前のデジタル戦略をも修正を余儀なくされ、確たる将来設計図を描くことが、極めて困難な状況下、お客さま本位と持続可能性を追求したビジネスを志向するデジタル戦略を語る。

<プロフィール>

1982年	株式会社住友銀行入行	2017年	同 取締役兼専務執行役員
2010年	株式会社三井住友銀行 執行役員		同 取締役 執行役専務
2011年	当社IT企画部長	2018年	同 取締役 執行役専務
2013年	株式会社三井住友銀行 常務執行役員		グループCIO兼グループCDIO
2015年	当社 専務執行役員	2019年	同 執行役専務 グループCDIO
	株式会社三井住友銀行 取締役兼専務執行役員		
	当社 取締役		

11月13日(水)



株式会社セールスフォース・ドットコム
代表取締役会長 兼 社長
小出 伸一 氏

顧客優位時代におけるデジタル変革の必要性

第4次産業革命が進行し、Society5.0 が現実のものとなりつつあるいま、品質の良い商品やサービスを大量に提供することで競争できた企業中心のビジネスモデルは終わりつつあります。その代わりに現れたのが、「顧客優位の時代」です。消費者はあらゆるモノとつながり、企業よりも圧倒的に多くの情報を持つ時代が到来しています。企業は顧客が求めていることを察して、行動することがより一層重要な顧客中心のビジネスモデルが必要です。

<プロフィール>

1981年日本アイ・ビー・エム入社。ハードウェア、アウトソーシング、テクニカルサービス、ファイナンシャルサービスの各事業の責任者を務め、ニューヨーク本社 戦略部門へ赴任。2002年には取締役役に就任。日本アイ・ビー・エムに24年間在籍後、2005年、ソフトバンクテレコム(旧: 日本テレコム)に入社、代表取締役副社長兼COOに就任。2007年より6年4ヶ月間、日本ビューレット・パッカード代表取締役社長執行役員として、同社のハードウェア、ソフトウェア、サービスの各事業ならびに全業務を統括。2014年4月、株式会社セールスフォース・ドットコムの代表取締役会長兼CEO(最高経営責任者)に就任、2016年11月より現職。また、2018年6月より三菱UFJ銀行の社外取締役に就任。

ゲスト基調講演

11月14日(木)



株式会社サンリオエンターテインメント
代表取締役社長
小巻 亜矢 氏

サンリオピューロランドをV字回復させたパーパスドリブンの組織変革～経営危機を脱出させた対話力～

「なぜこの時代に、この日本で、この仲間と、この仕事をしているのだろうか」という問いを深掘りすると見える答えがあります。

会社のパーパスを社員全員で対話・共有することで、自分の仕事はどこに繋がっているのかを実感しながら積み重ねる日々と、ルーティンと思って仕事をこなす日々とは、1年後見える景色が全く異なります。

全社員参加の対話的組織が持つ可能性を、サンリオピューロランドでの事例を交えてお伝えいたします。

<プロフィール>

2014年サンリオエンターテインメント顧問へ就任し、テーマパーク事業に携わる。2015年サンリオエンターテインメント取締役就任、2016年ピューロランド館長に就任を経て、2019年6月に株式会社サンリオエンターテインメント代表取締役社長就任。

11月14日(木)



アーティスト
スツツニ子! 氏

問いを立てるデザイン-未来から考える思考実験のススメ

テクノロジーの進歩によるAI技術の発展などにより、私たちの生活やビジネスに大きな変化が起きています。そのような中で、今の価値観は持続するのか?あなたの未来像・将来像は前提が変わったら成立しないかも、と考えたことはありますか?

What if(もし仮に)から考える、スペキュラティブデザインの思考法をご紹介します。

<プロフィール>

1985年生まれ。インペリアル・カレッジ・ロンドン数学科および情報工学科を卒業後、英国王立芸術学院(RCA)デザイン・インタラクションズ専攻修士課程を修了。在学中より、テクノロジーによって変化していく人間の在り方や社会を反映させた映像インスタレーション作品を制作。最近の主な展覧会に、2019年「BROKEN NATURE」(第22回ミラノトリエンナーレ、伊)2017年「JAPANORAMA」(ボンビッドゥーセンターメス、仏)2016年「第3回瀬戸内国際芸術祭」(常設作品「豊島八百万ラボ」)「NEW SENSORIUM」(ZKMアートセンター、ドイツ)「The Universe and Art」(森美術館)「Collecting Future Japan-Neo Nipponica」(ビクトリア&アルバート博物館、イギリス)など。2013年よりマサチューセッツ工科大学(MIT)メディアラボ助教に就任し Design Fiction Group を率いた。現在は東京藝術大学デザイン科准教授と、東京大学生産技術研究所RCA-IISデザインラボ特任准教授を兼任。VOGUE JAPAN ウーマンオブザイヤー2013受賞。2014年 FORBES JAPAN 「未来を創る日本の女性10人」選出。2016年 第11回「ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本特別賞」受賞。2017年 世界経済フォーラム 「ヤンググローバルリーダーズ」、2019年TEDフェローに選出。著書に「はみだす力」。共著に「ネットで進化する人類」(伊藤穰一監修)など

Get inspired through our keynotes

ガートナー オープニング基調講演

「転機」を「勝機」に変える: デジタル社会におけるリーダーシップ

インターネットの前身であるARPANETで初のメッセージ送信が行われて50年。ITリーダーは次の50年をどのように描けるだろうか。その鍵は、テクノロジーがもたらす「つながり」にある。先進テクノロジーを俊敏に取り入れ、人々をつなげ、組織の力を解き放つことで、CIOは直面するジレンマや葛藤を乗り越え、転機を勝機に変えることができる。

本基調講演では、その方策を深掘りし、デジタル社会で変化するCIOとIT部門の役割を大胆に展望するとともに、国内外の知見に基づく実践的なアドバイスを提示する。



足立 祐子
ディステイングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



デーブ・アロン
ディステイングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト



リー・ウェルドン
マネージング バイス プレジデント



本好 宏次
バイス プレジデント
アナリスト

ガートナー クロージング基調講演

本セッションではGartner IT Symposium/Xpo全体を通じて発信された主要なメッセージや推奨事項を総括する。この3日間で聞き逃したことはないだろうか。また、ここで学んだことを実践に繋げる上で、次のステップとして何をすべきか。この最後のセッションでは、必ず持ち帰っていただきたい本コンファレンスのエッセンスをお届けする。



海老名 剛
バイス プレジデント
アナリスト

Explore future trends in our Signature Series

シグニチャ・シリーズ

シグニチャ・シリーズでは、CIOアジェンダ、CEOの課題、戦略的展望、戦略的テクノロジー・トレンド等、ガートナーの最新リサーチを発表します。今後の戦略策定に有益な、ITシンポジウム参加者必見のセッションです。



デイヴィッド・シーリー
ディステイングイッシュト
バイス プレジデント, アナリスト

2020年の戦略的テクノロジー・トレンドのトップ10

本セッションで紹介する戦略的テクノロジー・トレンドは、今後5年以内にビジネスに破壊的な影響を及ぼし、イノベーションの土台となるものである。これらがビジネスに与えるインパクトを検証し、ビジネスモデルやオペレーションを軌道修正できない企業は、競争優位性を失う。ITリーダーはこれらのトレンドを注視すべきである。



藤原 恒夫
バイス プレジデント, アナリスト

2020年のCIOアジェンダ: 転換期に勝利を収める

社会情勢や経済情勢だけでなく、新たなテクノロジーの採用やビジネスモデルの刷新など、さまざまな転換点や変化が次々と到来する。自社およびIT組織がこれからの転換期の勝者となるために、CIOはどのように態勢を整えるべきか。本セッションでは、リーダーシップ、組織、プロセス、テクノロジーの各方面において、2020年にCIOが優先的に取り組むべき課題を論じる。



ウィット・アンドリウス
ディステイングイッシュト
バイス プレジデント, アナリスト

人工知能の今とこれから

多くの企業が人工知能を採用するようになってきている。とはいえ、その多くがいまだ採用の初期段階にあり、有効利用のための戦略やガバナンスを固めきれずにいる。ITリーダーは、本セッションを通じて、自社の現在の立ち位置を知り、市場全体の今後の方向性をつかむことができる。



マーク・ラスキーノ
ディステイングイッシュト
バイス プレジデント, アナリスト

2019年のCEOの課題: CIOは何を察しどう動くべきか

ガートナーは毎年、CEOの目線に立ったビジネス環境の変化の評価を実施し、商機をつかむ上で最も重要となるトレンドや課題を分析している。予測困難な状況に効果的かつタイムリーに対応するために、CIOが押さえるべき行動指針を示す。



デイヴィッド・ウィリス
ディステイングイッシュト
バイス プレジデント, アナリスト

ガートナーの重要な戦略的展望: テクノロジー戦術がビジネス戦略の礎になる

デジタル・トランスフォーメーションの途上にある企業は、テクノロジーを駆使し、企業の戦略的な方向性を定めることを夢見る。しかしながら、CIOには、ビジネス・トランスフォーメーションを進めるために、テクノロジーをあえて戦術的要素と割り切る「賢さ」も求められる。

An agenda for your priorities

CIOや企業のリーダーの課題を3つの観点から取り上げます。



テクノロジー&インフォメーション

デジタル戦略と企業のトランスフォーメーションを実現する上で、テクノロジーの活用は避けて通れません。本トラックでは、人工知能 (AI)、モノのインターネット (IoT)、ブロックチェーン、デジタル・ツインのような新興のテクノロジーを採用する機会やそれに伴うリスクについて、明確な知見を提示し、理解を深めます。CIOとITエグゼクティブは、これらのテクノロジーをしっかりと理解することで、自らのデジタル・トランスフォーメーションの道のりをどうするべきか、そしてその目標を達成する時期がいつ頃になるのかに関する助言を行います。



リーダーシップ

企業のあらゆるレベルのリーダーは、デジタル化の機会に直面していることを認識しつつあります。デジタル化への多額の投資や、デジタル・カンパニーへの移行といったプレッシャーを受けて、顧客から従業員、エグゼクティブ・チーム、取締役、さらにはデジタル・エコシステムに至るまで、広範囲にわたって企業間の関係や組織構造を再構築しています。本トラックでは、デジタル社会におけるリーダーシップについて改めて考察し、各レベルのリーダーシップと組織文化全体に対する新たなアプローチを提言します。



ビジネス戦略

今日のビジネス環境は複雑で混沌としています。エンタプライズ・ビジネスモデルを成功させるには、複雑に絡み合ったビジネス課題を解きほぐして不透明な市場を見通すための戦略と戦術が必要です。本トラックでは、CIOとITエグゼクティブが複雑さと混沌の中から現実的な戦略実行イニシアティブを導き出すための、ビジネス戦略に役立つ知見、手法をご紹介します。



Topics covered in 2019



人工知能と機械学習

人工知能 (AI) は、データ/アナリティクスに関する他の要素技術とも連携し、仕事の在り方を根本的に変えつつあります。これは人の能力を拡張する新たなスキルセットと言えます。時間や資金の無駄を最小化する新たなオートメーションや、新旧のビジネス課題を解決する革新的なスキルが、人に備わるインテリジェンスをいかに強化/拡張するかを探ります。



ビジネス・インテリジェンスと高度アナリティクス

デジタル・ビジネスは、常に適切なデータ運用とビジネス環境下で進められる必要があります。デジタル・ビジネスで成功を収める組織では、データ管理とアナリティクスのリーダーが中心的な役割を担っています。ビッグ・データ時代に、社員が能動的にアナリティクスに取り組む組織文化をいかに醸成できるか。機械学習や自然言語処理といったテクノロジーを駆使してデータから「ストーリー」を導き、ビジネスへの影響を考察する術を探ります。



クラウド/インフラストラクチャ戦略

クラウドはいまや、ITではなくビジネスをトランスフォームするツールへと進化しました。イノベーションに必要な俊敏性と拡張性を備えたプラットフォームと言えます。一方で、クラウド環境の複雑性は日々増えています。競争優位を獲得するために、クラウドをいかに戦略的に使いこなすかを解説します。



成長に向けたコスト最適化/投資戦略

デジタル・ビジネスの破壊的影響や経済性に対する厳しい要求にさらされる組織が増えています。こうした組織がビジネス成長を戦略的に進めるために、ITコストを削るのではなく、最適化するための道筋を示します。



足立 祐子
ディスティングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト
リサーチ&アドバイザリ部門

亦賀 忠明
ディスティングイッシュト バイス プレジデント
アナリスト
リサーチ&アドバイザリ部門



カスタマー・エクスペリエンスとユーザー・エクスペリエンス

「顧客」が今ほどの力を持つ時代は、これまでにありませんでした。企業は顧客に対し産業の垣根を越えたエクスペリエンスが求められるだけでなく、各種の規制に対する対応や説明責任も問われています。カスタマー・エクスペリエンス(CX)の管理は、CEOが最重視すべき課題であり、持続可能で競合との差別化につながる卓越したCXを構築する方法を解説します。



デジタル・ビジネス・トランスフォーメーション

これからの「デジタル・ビジネス」の世界ではテクノロジーとインテリジェンスがあらゆる局面に組み込まれます。デジタル・トランスフォーメーションを完遂するためにはどのようなステップをたどるべきか。社員、パートナー、顧客の全てが現実とデジタルを融和し成功を収めるための方策を探ります。



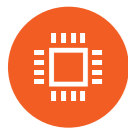
イノベーション・マネジメント

真のイノベーターは特定のイノベーションを起こすだけでなく、ビジネス環境とその在り方や関わり方を根本から変えていきます。破壊に対処していくのか、組織の在り方をどう見直すのか、戦略をどうするか、投資優先度をどうするか、そして、未来のビジネスをけん引するテクノロジーとどう向き合うのかを論じます。



リーダーシップ、人、組織文化

意欲にあふれ、果敢に挑戦し、働き方の変化を厭わない人材こそが、デジタル・ビジネス成功の原動力になります。異なる組織文化の中で、ITリーダーは新たな経営モデルの再構築にどう挑むのか。激化する競争環境の中でも人材を獲得し定着化させるための施策を論じます。



新興／破壊的テクノロジー

テクノロジーの加速度的な進化が続いています。ITエグゼクティブはリスク管理やビジネス運営の方法を適切に調整しながら、ビジネスに重大な変化をもたらすトレンドを見極め、これに投資しなければなりません。組織の変革を着実に実現するために、ブロックチェーン、モノのインターネット(IoT)、人工知能(AI)、ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)をどう評価し導入するかを探ります。



働き方の未来

これから先の10年間は、働き方の本質を変える様々な影響が顕在化する期間になります。AIと機械学習、絶え間なく送出されるデータ、「場所を問わない働き方」といったトレンドが、ワークフォースそのものにどういった変化をもたらすのか。社員の俊敏性やデジタル・デクステリティに注目しながら解説します。



セキュリティ、リスク、コンプライアンス

情報管理を主眼とするセキュリティの実践は、多くのセキュリティ担当組織にとって最も大きな責務です。しかし、現状ではビジネスのあらゆる領域でテクノロジーを採用する影響が拡大することに向く対応できていません。デジタル革命がもたらすセキュリティ・リスクは何か、貴社のITセキュリティの要件をデジタルやサイバーフィジカルのニーズに適応させるには何をすべきかを解説します。



戦略的プランニングと実行

デジタル・ビジネスを実現するには、ビジネスとITを融合させ、全社的にあらゆるテクノロジーを網羅する新たな戦略が必要です。戦略を適切に実行に移すには、コミュニケーション力、調整力、そして適切な成功指標が求められます。不確実な時代に企業を成長させるために、今必要とされている順応性の高い戦略を策定／実行する方法を提言します。



Meet directly with Gartner experts



One-on-oneミーティング

お客様個別の課題に直接回答する個別ミーティング

ガートナー one-on-oneミーティングは、お客様の課題に対してガートナー・エキスパートがお答えする「1対1」型のミーティングです。

・1回30分の個別ミーティング

お客様が抱える固有の問題・課題に特化した双方向ディスカッションによって、解決への道標・示唆を得ていただくことを目的としています。

・お一人様2回までご参加いただけます。

ミーティングはトピックのご指定だけでも行えます。最適なガートナー・エキスパートとのミーティングをアレンジさせていただきます。

・ご希望により通訳が同席いたします。

各エキスパートの詳細情報はWebサイトをご覧ください。

〈お申し込み方法〉

→ 貴社担当営業へお申し付けください。

9月中旬よりWebサイトからもお申し込みいただけます。

コンサルティング・クリニック

実践的なアドバイスを行う個別ミーティング

お客様の特定課題に対し、実践的なアドバイスを行うクローズド・セッションです。経験豊富なコンサルタントが有する知見と、類似の課題の解決事例も鑑みながら、共に考え、解決策を見いだします。

・アプローチ

45分間のセッションに情報とノウハウを凝縮し、貴社の課題の解決策を議論します。様々な専門領域を持った経験豊富なコンサルタントが、ベスト・プラクティス、マーケット・トレンドを紹介しつつ、フレームワークや方法論に基づいて、ともに打ち手を検討します。

・得られる結果

貴社の課題への現実的な解決策を見いだせます。議論を通じて、課題の全体像、対策の優先順位、当面実行すべきアクションプランを整理することができます。

〈お申し込み方法〉

→ 貴社担当コンサルタント、もしくは担当営業へお申し付けください。

Discover the latest technology

最先端のソリューション・プロバイダーが、デジタル・ビジネスを推進するための先進テクノロジーと課題解決に役立つセッションを提供します。

ソリューション・プロバイダー・セッション

最新動向や具体的な取り組み事例を紹介

ガートナーが注目するソリューション・プロバイダーをはじめ、エンタプライズITで話題の新興ソリューション・プロバイダーが、デジタル・ビジネスを推進するための具体的な方策や、最新ソリューションをプレゼンテーションします。

ソリューション・プロバイダー・ミーティング

テクノロジー・スペシャリストとの個別ミーティング

各ソリューションの専門家、テクノロジー・スペシャリストとの個別ミーティングは、質疑応答の絶好の機会です。貴社の優先事項に合わせてアドバイスし、具体的な次のステップを提示します。

総合展示スペース IT Xpo

革新的ソリューションが多数展示されるIT Xpo会場では、貴社のビジネスに最大の価値をもたらすテクノロジーを効率よく比較、検討いただけます。また、会場内では、シアター・セッションやイベントも開催されます。

オープンシアター・セッション

IT Xpo会場で実施する1回15-20分のショート・セッションです。次のトレンドとなるソリューションや注目の最新情報を提供します。

IT Xpoレセプション

くつろいだ雰囲気の中で、食事やエンターテインメント、ネットワーキングをお楽しみください。

